

カメラに向かってポーズ — 学校の登山を思いだしちゃった



# 秋を歩き、秋を楽しむ

村民歩け歩け大会'85に1,200人



完歩のあとは

みんなで食べるとうまさも倍増。笑顔が絶えない昼食です。豚汁のサービスもありました。

新村誕生25周年記念行事として前評判の高かった「村民歩け歩け大会'85」には、身近でお金のかからないレジャーを求めて約1,200人の家族連れが参加しました。

スタート地点の丸小山広場はちょうど色づきはじめた木々に芝のグリーンがあざやか。乳母車の赤ちゃんからお年寄りまでの参加者は、スタート時間の午前10時15分、誘導員の指示に従って次々と歩き始めました。

コースは林道岩室金池線をめぐって石瀬を経て、出発点の丸小山広場までの約6キロ。一番乗りを目指して駆け出す小学生がいる一方で、秋の草花をつみながら歩くのんびりグループも多く、それぞれのペースで、秋を楽しむしていました。

55年から続けられているこの「村民歩け歩け大会」は村民の身近なレジャーとしてすっかり定着、「毎回参加を楽しみにしています」という家族連れも多かった。



にこやかに

カラオケ大会で「愛おぼえていますか」を歌った子どもたち。パトントアラウのユニホームが似合ってます。



10時15分

それスタートだ。きちんと並んで並んで歩道を一直線。



石瀬山の杉林、赤とんぼが舞い秋が深まる



気分はいかが

子どもからお年寄りまで幅広く参加したのが歩け歩け大会の特徴。ところでおばあちゃん、歩く気分はいかが。「えっ、最高だっけ?」



2キロ地点

「半分くらい歩いたかな。この分なら完歩も楽だな」「えっ、まだ2キロ地点だって、あと4キロもあるの」親より子どもたちの方が足どりも軽やか。